

代表質問

今回の代表質問は、日本共産党磐田市議員、五和会、未来、開誠会、公明党磐田の順で行われました。

市政運営 / 行財政改革 平和・福祉・教育を大事にするまちづくり

日本共産党 磐田市議員 質問者 稲垣あや子 議員

市政運営

質問 市長就任後2年半の間に、旧磐田市職員互助会の脱退慰労金問題とたび重なる市職員の酒気帯び運転の件で、市長の給料減額条例が2回提出された。職員のリーダーとしてどんな組織づくりをし、これからどうしていくのか。

答弁 管理者としての責任を痛感している。反省すべき点は反省し、職員の指揮監督に当たっていく。

質問 女性職員の管理職登用計画は。

答弁 27年度における係長級以上に占める女性職員の割合の目標を30%としている。

行財政改革

質問 幼稚園や保育園で正規職員の増員が求められている。現状と目指す方向は。

答弁 19年10月1日現在の正

規職員比率は、幼稚園が64・9%、保育園は62・4%である。一定の正規職員比率確保の考えのもと、20年度は現状の正規職員数を確保したい。

平和・福祉

質問 核兵器廃絶非核平和都市宣言を行うことが求められている。今後の予定は。

答弁 核兵器廃絶平和都市宣

こども行政への取り組み 高齢者施策の取り組み

未来 質問者 川崎和子 議員

こども行政

質問 幼稚園・保育園の嘱託・臨時職員の待遇改善を。

答弁 臨時職員については、来年度からの賃金引き上げに向け検討していく。これからの予算編成の中で具体化していきたい。

言等を庁内検討委員会で検討している。議会と調整し、年度内に制定したい。

質問 後期高齢者医療制度に対する見解は。

答弁 給付と負担が広域連合で完結するという意味では、非常に明確な制度になったと考える。

質問 妊産婦支援として、産科の充実と妊婦健診の拡大を。

答弁 市立総合病院では、周産期母子医療センターの建設を予定している。今後、助産師等の増員を図るなど、安心して出産できる環境の整備を進めていく。妊婦健診の拡大については、現在、2回の妊婦健診の助成を、20年度から5回程度の助成としていく。

質問 長期休暇中における放課後児童クラブの対象年齢幅を、小学校4年生まで拡大する考えは。

答弁 実施可能な箇所から検討を進めていく。

質問 衛生面など、学校給食の安全・安心には、給食の配

膳員の設置が必然と考えるかどうか。

答弁 給食は教育活動の一環で、配膳は教師本来の業務である。なるべく教師に負担をかけない配膳方法を検討していきたい。

質問 新設する学校給食センターでの食物アレルギー対応食には、代替食を盛り込むべきである。センター開設時に、代替食を始めていただきたいと考えるがどうか。

答弁 できる範囲で個々の子供の状況に応じた代替食について、対応していきたい。

高齢者施策

質問 老人クラブの数が年々減少している。組織を見直し、活発化できる手法を模索していただきたいがどうか。

答弁 老人クラブの必要性は十分認識している。支援を継



老人クラブ活動

的に進めるとともに、老人クラブなども広く意見を交換し、より具体的な活性化策を検討していく。

会派名簿

(19年12月3日現在)
(代表者)

五和会

- 鈴木晴久 宮澤博行
- 野崎正藏 鈴木正孝
- 早川勝次 加藤治吉
- 河島直明 鈴木昭二
- 寺田仁一 川村孝好
- 岡 實 佐々木信仁
- 藤森康行 石野 泉
- 増田暢之 馬淵源一
- 山田安邦 大庭隆一
- 小木秀市 元場千博
- 高安和雄 桑原全太郎

開誠会

- 渡部 修 田之上康成
- 八木啓仁 寺井信男

日本共産党磐田市議員

- 稲垣あや子 根津康広
- 高梨俊弘
- 公明党磐田
- 小野泰弘 鈴木喜文
- 山際今子
- 未来
- 玉田文江 川崎和子

20年度予算編成方針と諸課題 市長の職員に対する指導責任

五和会 質問者 鈴木晴久 議員

予算編成方針

質問 自治会要望を実現するため、20年度は当初予算で住民に理解される生活密着型の事業展開を。

答弁 20年度の予算編成では大規模事業等の進展を見据えながら、なるべく多くの自治会要望を満たすよう努力していきたい。

質問 合併3年目になり新市の全体像がわかり、本当に必要な事業が否かを判断できるようになった。総額380億円以上の合併特例債事業の精査が必要と考えるがどうか。

答弁 合併特例債事業は、優先的に推進すべき事業と考えるが、推進に当たっては財源確保、事業実施の熟度などの調整を経ていくものと考え、新市として真に必要なものを財政見通しと照らし合わせ、計画的に推進していきたい。

質問 支所の見直しは緊急の

課題と考える。市長の考えは。

答弁 20年度、支所組織の改革により、豊田支所を除く3支所は、現在の4課5係から4課4係体制を予定している。旧町村地区の方の理解を得ながら、だんだんと規模を縮小する方向で対応していきたい。

都市整備

質問 JR磐田駅前二つの再開発事業について総括を。

答弁 中長期的視野に立ち取り組んできた事業であり、本市の発展に必要な条件の一つを整えたものと認識している。今後、中心市街地の核として、使いやすさなどを実感してもらえような地域に育てていくことが使命と考えている。



磐田駅前再開発ビル

質問 JR磐田駅北口広場は、どんなコンセプトで整備していくのか。

答弁 磐田駅周辺地区のまち

づくりの根幹となるものであり、大クスをシンボルに公共交通の結節点としての利便性を生かし、駅前広場としての機能が確保できるよう、早期に整備していきたい。

公園

質問 (仮称)第2竜愛公園の現状と今後の整備計画は。

答弁 19年度は用地取得と基本設計業務を進めている。20年度に実施設計業務等を実施し、21年度中には一部供用開始できるよう進めていきたい。

教育

質問 発達障害児及びその保護者の支援は、教育施策の最重要課題の一つである。特別支援教育についての認識、現状と課題は。

答弁 共生社会の基礎となる重要な教育と認識している。本市は、他市町に先駆け専門家チーム会議等を実施するなど、園・学校の支援体制を整えてきた。今後、保護者への啓発活動などの推進とともに、幼稚園や小学校低学年段階での早期支援を可能にするため、巡回相談等の重点的な充実を図り、園・学校を積極的に支援していきたい。

質問 旧豊田地区の学校に配

置されていた給食配膳員が、19年度に廃止された。食の安全の意味から、積極的に給食配膳員を配置すべきと考えるがどうか。

答弁 安心・安全な学校給食のため、どの程度までの衛生管理が必要かも踏まえた上で、今後の配膳・配食のあり方について、現在検討している。

質問 豊田ラブリバー公園テニスコートの増設を。

答弁 必要性等は十分認識している。体育施設全体の配置計画を策定し、この中でラブリバー公園テニスコートの整備も考えていきたい。



豊田ラブリバー公園テニスコート

質問 国分寺整備の全体計画と国分寺資料館の必要性について説明を。

答弁 第1期事業として、18年度から28年度にかけ発掘調査や資料館建設等を行い、第2期事業として、29年度から33年度にかけ史跡指定地の追加指定を進める予定である。資料館は、市の観光資源であ

る

る国分寺跡を最大限生かす拠点、今後の整備事業拠点及び情報発信施設として、必要性は高いと考える。

多文化共生

質問 外国人の子供の教育支援体制を整備し、窓口を一本化するかと考えるがどうか。

答弁 将来的には教育委員会での窓口一本化を目指す方向で努力していく。

市長の指導責任

質問 旧磐田市の職員互助会慰労金返還について、市長は政治生命をかけた、返還率の低い消防や病院等の職員に対し、厳しく指導をすべきと考えるがどうか。

答弁 一刻も早く返還計画を提出するよう粘り強く要請していく。

質問 職員の飲酒運転について、再発防止への意気込みと職員への指導徹底を。

答弁 これまで以上に交通法規遵守意識と安全運転のより一層の徹底のため、組織一丸となって取り組み、市民からの信頼回復に努めていく。

行財政改革と市政運営

開誠会 質問者 渡部 修 議員

質問 行革に対する市長の基本的理念・意義・目的を改めて伺う。

答弁 行革は、地域をより発展・繁栄させ、より暮らしやすく快適な地域とする手段である。削減することが目的ではなく、見直して生み出した財源や人材を新規分野や重点分野に集中して、新たな都市発展・繁栄のモデルとなるまちづくりが進められるよう取り組みたい。



公社所有地(見付地内)

質問 中期財政計画において、

土地開発公社所有地の一般会計による計画的な買い戻しを見込むべきと考える。見解を。

答弁 今後、計画的な買い戻しを実施していきたい。中期財政計画には、計画をローリングする際に盛り込みたい。

質問 磐田原総合開発株式会社の早期清算に対する見解は、

質問 南部救急医療機関の誘致において、公設公営で行う考えはあるか。

答弁 公設公営は、最終段階での選択肢の一つとして考えているが、現段階では民設民営の可能性を最大限に探っていきたい。

質問 小中学校の35人学級について、いまだに40人学級のままとなっている小学校5・6年生の今後の編制方針は。

答弁 35人学級にかかわらず、すべての事業に見直しと



35人学級

いうものはあり、専門家の助言を得ながら、制度の成果を検証していきたい。

質問 公立学校における外国人児童生徒の受け入れ体制が不十分である。指導員の増員を含めた早急な対策を。

答弁 現在、多くの外国人児童生徒を抱える学校へは常駐での増員を検討しており、今後も、実態を勘案した支援の充実を図るよう努力したい。

磐田市の施設と道路 高齢者支援と子育て支援

公明党磐田 質問者 鈴木喜文 議員

施設・道路

質問 袋井・掛川統合病院の建設は、浜松医大の協力もあり前進すると思われるが、医師確保の面で磐田市立総合病院の今後が心配される。市立総合病院と浜松医大

答弁 今後、計画的な買い戻しを実施していきたい。中期財政計画には、計画をローリングする際に盛り込みたい。



磐田市立総合病院

大の連携は、今後も継続されるのか。

答弁 同大出身の医師が7割を占めていること、臨床研修での協力が良好であること等、今後とも今以上に協力関係を強化していきたい。

質問 実効性ある道路整備のため、自治会要望にこたえる方法として、割り当てられた

の役割は。また、具体的な支援策と仕組みづくりは。

答弁 高齢者を地域で支援するためのネットワークづくりや、包括的・継続的ケアマネジメントを進めること等の重要な役割を担っている。介護予防の普及啓発や地域の介護予防活動を支援し、総合的な地域ケアの仕組みづくりを、20年度から6カ所となるセンターを核として進めていく。



地域包括支援センター

質問 乳幼児医療費助成制度拡充の考えは。

答弁 健康に関することは、財政力に応じて行うものではなく、全国一律で進めていくことが基本と考える。本市独自の助成拡大は今後の検討課題とし、引き続き国としての拡充を要望していきたい。

質問 市立幼稚園・保育園における正規職員との賃金格差是正のため、臨時・嘱託職員の賃金アップを。

答弁 近隣他市などの状況を踏まえ、20年度からの引き上げに向けて検討していく。

一般質問

自治体の防災対策 地域医療の充実策

日本共産党 根津康広 議員

防災対策

質問 県の消防広域化検討委員会の消防組織再編案は問題がある。見解は。

答弁 県からは、本市は志太・榛原・中東遠に再編される案が示されたが、消防力の強化、職員の適正配置等を考えると、中遠の枠組みが最良と考える。県や関係市町に理解されるよう努力したい。

質問 災害時応援協定締結の現状と締結団体との連携は。

答弁 駒ヶ根市等の市町村、各種団体、民間事業所等と協定を締結している。支援が災害時に確実に機能するよう定期的に検証していきたい。

質問 公共建築物の耐震化率と耐震化の方策は。

答弁 耐震化率は、19年3月末で66・9%である。公共建築物のうち、一定規模以上で不特定多数が利用する特定建

築物は、計画的に耐震対策を実施し、27年度末までに耐震化率を100%としたい。

地域医療

質問 療養病床削減計画による市立総合病院への影響は。

答弁 在宅療養が難しい患者に療養病床を持つ施設等を紹介しているが、今後、待機期間の長期化や対象患者が限定

される等の影響が考えられる。

質問 医師・看護師の勤務実態は。また、臨時職員の時給引き上げの考えは。

答弁 医師の宿日直勤務は月2、3回で、一般病棟の看護師は深夜・准夜勤務で月8回ほどである。臨時職員の時給は、業務量の動向、職種専門性等を踏まえ、他病院も参考に今後見直す。

質問 妊婦救急搬送の実態と受け入れ状況は。

答弁 18年度は25人、19年度は10月末で21人あり、すべて市立総合病院で対応した。



市南部地域への 救急医療機関の設置

無所属 山田安邦 議員

はいけないので、差し控える。

質問 トップセールスの際に提示した条件と、その感触は。

答弁 医師会を含め民間法人7カ所に意向調査を実施した際、救急医療に係る経費を市で支援する意向があることを条件とした。極めて難しいという感触を得たが、最大限努

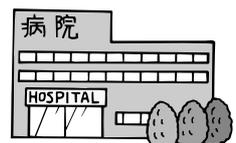
力していかなくてははいけないと認識している。

質問 条件を提示した公募の予定は。また、民間医療法人が独自で進出を希望する場合の市の対応は。

答弁 南部救急医療機関選定等委員会が募集要項を作成し、意向調査を実施した法人を中心に公募を予定している。応募があれば、当該委員会での選定を経て、できれば20年7月までにすべてを決定したい。法人独自の進出は、拒むものではないが、土地建物などの確保は、基本的には法人側をお願いしたい。

質問 民間医療法人が進出を

希望する土地は、国道150号バイパスにより分断され、不整形な形状となるものである。公



共事業における行政の責任と将来的な土地利用をどのように考えているのか。

答弁 関係者と調整した上で計画であり、行政に責任があるとは認識していないが、この地域は、新たな土地利用の検討を可能とする土地利用適正化ゾーンと位置づけたので、周辺土地の活用を図るべき地域と考えている。

安心安全のまちづくり 行政改善／大池公園計画

公明党 小野泰弘 議員

安心安全

質問 広報印刷物等の音声コード化の現状と対応は。また、窓口等への活字文書読み上げ装置の設置の検討を。

答弁 音声コードは、磐田市障害者計画の概要版に取り入れた。できるものから順次実施したい。活字文書読み上げ装置は、20年度開館する（仮

称）総合福祉会館の社会福祉課に設置を予定している。

質問 緊急通報システムを、よりサポート性の高い旧町村方式に統一する考えは。

答弁 利用者負担に差があるので、段階的に旧町村のものに統一化を図っていききたい。

質問 市営住宅入居時に連帯保証人を必要としない条件を

緩和する方向にあるか。
答弁 必要としない運用を拡大する方向で検討したい。

質問 緊急地震速報の活用、対応についての考えは。

答弁 県内市町との情報交換や、速報受信機器の開発状況などを参考に検討を進めたい。

行政改善

質問 教育現場等に、無償で使えるオープンソースソフトウェアを導入する考えは。

答弁 整備環境が確立されておらず、教師の技術獲得も困難が予想される。現段階では、



大池

先進学校等での運営状況などを注視していきたい。
大池公園
質問 大池公園計画を延伸すると聞くが、今後の見込みは。

教育における諸課題

市民に利用される(仮称)総合福祉会館に

日本共産党 高梨俊弘 議員

教育

質問 全国学力テストの結果の見解と取り扱いは。また、このテストは不要と考えるが、来年度の実施について見解を。

答弁 教科調査では、全国平均を上回り、授業の充実、ふりが、意識調査では、地域への関心等の高さがうかがえた。学校別の結果は公表しないが、市全体の結果は公表する。

構想区域は、規模も大で、農地関係等の課題や事業費も多額となるため、一度に整備するのではなく、部分的な整備を図るなどの計画の見直しが必要と考える。具体的な整備計画の策定は、地域の皆さんに協力してもらい、協働の考え方を取り入れながら進めていきたい。

質問 学校図書館図書標準の達成状況と課題は。

答弁 達成状況は小学校81・4%、中学校66・4%である。図書購入費が限定される中で蔵書数増加が課題である。

質問 就学援助申請の際、法的根拠がないのに民生児童委員の意見書添付を強制することは問題である。見解は。

答弁 児童生徒の生活実態に即した柔軟な認定に努めているが、学校や教育委員会で判断に限りがあり、民生児童委員の意見を求めている。

男女共同参画

質問 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の取り組みと方向性は。

答弁 企業や市民に啓発を行うとともに、多様な保育サービスをはじめとした両立支援策等の展開に向け、調査、研究等をしていきたい。

質問 国は積極的な子育て支援等を行っている企業を、ファミリー・フレンドリー企業として表彰している。市内に受賞した企業はあるか。

答弁 市内では、1社が労働局長賞を受賞している。

少子化と男女共同参画

医療・保健行政/多文化共生社会の構築

公明党 山際今子 議員

医療・保健

質問 がん検診の体制充実の考えは。

答弁 20年度から旧磐田市地区において、検診会場を新たに4カ所設定する。また、子宮がん検診は、開業医での検診を検討していく。

質問 肝炎対策の取り組みは。

答弁 肝炎検査は14年度から実施している。20年度も特定健康診査にあわせて実施する。

質問 周産期母子医療センター開設までのスケジュールと整備体制、人材確保は。



初期支援教室

で、外国人児童生徒で、外国人児童生徒で、基本的な日本語指導と学校生活への適応指導を充実すること等で対応したい。

施設利活用をどのように考えているか。
答弁 生きがいづくり室や交流の場とし、健康づくり室では介護予防事業等を展開したい。

質問 開館時間、総合案内等のあり方は。また、施設の管理運営の方法は。

答弁 本年度は設計業務を実施し、20年度からの2カ年の建設工事で、新生児集中治療室等の整備を計画している。人材は、関連大学の医局や助産師等の養成機関へ働きかけなどを行い確保に努める。

質問 外国人児童生徒の日本語教育充実の取り組みと、学校での課題や対応は。

答弁 日本語指導員5名と相談員3名が巡回指導している。日本語がわからない児童生徒が転入したときの対応が課題で、外国人児童生徒

開館時間は午前8時30分から午後10時までを予定している。総合案内等は高齢者、障害者等へもわかりやすく、親切な体制を心がけていく。当面は市が管理運営したい。
質問 交通アクセスに課題があると考えるが、開館までの取り組み状況は。

本年は設計業務を実施し、20年度からの2カ年の建設工事で、新生児集中治療室等の整備を計画している。人材は、関連大学の医局や助産師等の養成機関へ働きかけなどを行い確保に努める。

審議結果一覧表

■全会一致により可決された議案

- (1) 19年度一般会計補正予算（第3号）
- (2) “ 農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
- (3) “ 公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- (4) “ 水道事業会計補正予算（第1号）
- (5) 郵政民営化法及び郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- (6) 政治倫理の確立のための市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (7) 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (8) 市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (9) 特別職の職員で常勤のものの給料等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (10) 教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- (11) 職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定
- (12) 自転車等駐車場条例の一部を改正する条例の制定
- (13) 指定管理者の指定（栄町自転車等駐車場）
- (14) “ （磐田スポーツ交流のりめりあ球技場外5施設）
- (15) “ （総合体育館外11施設）
- (16) “ （東大久保運動公園（公園緑地部分）外3施設）
- (17) “ （福田屋内スポーツセンター外13施設）
- (18) “ （新造形創造館）
- (19) “ （香りの博物館）
- (20) “ （豊岡地域福祉センター）
- (21) “ （子育て支援総合センター）
- (22) “ （老人ホーム楽寿荘）
- (23) “ （竜洋老人福祉センター外3施設）
- (24) “ （勤労者総合福祉センター及び勤労青少年ホーム）
- (25) “ （繊維工業振興センター）
- (26) “ （豊岡地場産品ふれあい施設）
- (27) “ （市営豊田循環バス）

- (28) 指定管理者の指定（市営豊岡循環バス）
- (29) “ （リバーラ磐田市営駐車場）
- (30) 国土利用計画
- (31) 小字の廃止
- (32) 市長等の給料の特例に関する条例の制定

■賛成多数により可決された議案

- (1) 19年度一般会計補正予算（第4号）
- (2) 市営豊田循環バス条例の一部を改正する条例の制定
- (3) 市営豊岡循環バス条例の一部を改正する条例の制定
- (4) 市立公民館条例の一部を改正する条例の制定
- (5) 指定管理者の指定（豊田町駅北駐車場及び豊田町駅南駐車場）
- (6) “ （竜洋海洋センター体育館外6施設）
- (7) “ （アミューズ豊田外9施設）
- (8) “ （福田健康福祉会館）
- (9) “ （豊田福祉センター）
- (10) “ （竜洋昆虫自然観察公園外2施設）

※ これら賛成多数により可決された議案は、すべて討論が行われました。表決結果は次のとおりです。

- (1)・(3)・(8)・(9)の議案…… 賛成30(公・無)、反対3(共)
- (2)・(7)の議案…………… 賛成28(公・無)、反対5(共・無)
- (4)の議案…………… 賛成27(公・無)、反対6(共・無)
- (5)の議案…………… 賛成17(無)、反対16(共・公・無)
- (6)の議案…………… 賛成22(公・無)、反対11(共・無)
- (10)の議案…………… 賛成31(共・公・無)、反対2(無)

■不採択になった請願

- (1) 後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書の提出を求める請願

※ この請願は討論が行われ、表決結果は、採択に賛成3(共)、反対30(公・無)でした。

そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 市議会議員の派遣
- (2) 指定管理者指定特別委員会の設置・付託、委員の選任
- (3) 国土利用計画特別委員会の設置・付託、委員の選任

議案採決までの流れ



※請願についても同じ流れです。

2月定例会の予定

2月20日～3月21日（31日間）

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局（電話0538-37-4822）までお問い合わせください。

- 2月20日 本会議（先議議案の上程、説明・質疑等）
常任委員会
- 21日 常任委員会（審査予備日）
- 26日 本会議（先議議案の採決、予算議案等の上程・説明）
- 29日 本会議（一般質問）
- 3月3日 本会議（一般質問）
- 4日 本会議（一般質問）
- 5日 本会議（一般質問予備日）
- 6日 本会議（議案に対する質疑）
- 7日 本会議（議案に対する質疑）
- 10日 常任委員会
- 11日 常任委員会
- 12日 常任委員会
- 13日 常任委員会
- 14日 常任委員会（審査予備日）
- 21日 本会議（議案の採決等）

いずれも午前10時から